

みんな

子どもへの応援



近ごろ、少子化や核家族化、地域の住民同士のつながりが薄くなるなど、子どもたちを取り巻く環境は変化しています。

これは、子どもたちが地域の住民と交流することによって、得ることができる様々な経験や、その経験を通して学んでいた社会性や信頼関係を作り上げていくことを困難にしているのではないのでしょうか。

このようなことから、子どもたちが健やかに成長していくためには、これまで以上に地域全体で、子どもたちを見守ることが必要になってきました。

そこで市は、子どもたちの教育をよりよくするために、これまで以上に地域や学校、家庭が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる、学校支援地域本部事業を実施することになりました。

子どもたちを みんなで支える



この事業は、地域の住民が学校で行なわれている様々な活動を支援することで、子どもと地域の住民が接する時間が増え、子どもたちのコミュニケーションの能力が高まったり、地域の住民の持つ経験や知識を子どもたちの教育に生かすことがで

きたりするなど、よりきめ細やかな教育活動と地域の活性化を目指しています。

では、この学校支援地域本部事業とは、どのような仕組みになっているのでしょうか。

学校支援地域本部

実行委員会とは

教職員、PTA関係者、地域の代表者、企業関係者などで構成されています。

委員会は、市内の小中学校を5つのブロックに分けて、それぞれの地域に設置されている学校支援地域本部への指導や助言、地域コーディネーターの養成などを行います。

学校支援地域本部とは

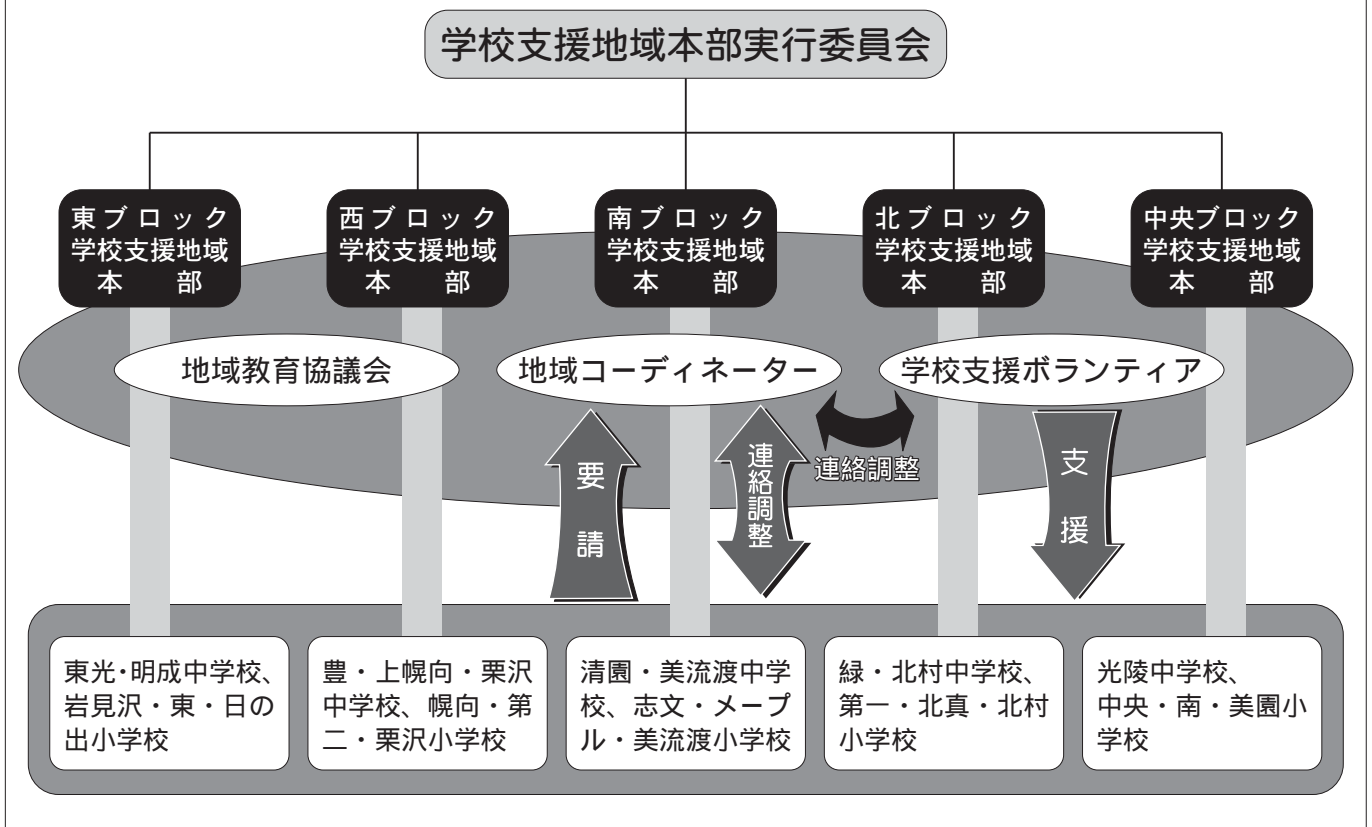
地域教育協議会、地域コーディネーター、学校支援ボランティアで構成されています。

地域教育協議会とは

学校やPTA関係者で構成され、子どもたちが健やかに育っていくために、何が求められているのかを検討します。

協議会には、子どもたちが登下校をはじめとして、放課後の生活でも安全で安心な地域環境づくりや、動

学校支援地域本部事業の仕組み



植物の世話や成長の観察を通して、生命の大切さを学んでもらうなど、地域の特性をいかした役割が期待されています。

地域コーディネーターとは

学校と地域の現状を良く理解し、学校支援ボランティアと学校を結び役割を担っています。また、学校の要望に応じた人材を探し、学校に情報提供も行ないます。

学校支援ボランティアとは

学校を支援する活動に参加する意欲のある地域住民の方が、子どもたちを支援します。

これまでも、町内会などの方が、子どもたちの登下校時の通学路で安全指導などを行なっていますが、これも大切な学校支援ボランティアです。この他にも、次のような活動があります。

授業の補助、茶道の指導、スキー学習などの学習支援
図書の整理や読み聞かせなどの支援
部活動の指導支援
花壇や芝生の手入れ、グラウンドの整備などの環境整備支援

子どもたちは、これらの支援を、多くの方から受けることで、様々なことを学び、これからの生活に生かしていくことができるのではないのでしょうか。

また、地域住民の方が子どもたちと接する機会が増えることで、地域でのきずなが強まったり、教員は、より一層子どもたち一人ひとりと向き合い、きめ細やかな指導ができるようになったりするなど、地域の活性化や、学校を中心とした地域づくりにもつながっていくことでしょう。

学校支援ボランティアとして活動するためには、特に資格は必要ありません。教育やボランティア活動に意欲と関心がある方であれば、どなたでも登録することができます。

市民の皆さん、子どもたちが健やかに成長するために、自らの経験や知識を子どもたちに教える学校支援ボランティアとして活動してみませんか。

皆さん一人ひとりの力が、地域や学校を支えていくことでしょう。なお、登録や連絡先、申込方法などは、今月号の広報に折り込みの手紙をご覧ください。

問合せ先 市教委指導室